



2022年5月13日

各 位

会社名 ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 兼グループCEO 小野 有理
(コード番号 6699 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 CFO 徳原 英真
(TEL 06-6302-8211)

2022年3月期の連結業績予想と実績値との差異 並びに営業外収益、特別損失、法人税等調整額の計上に関するお知らせ

2022年2月14日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期の連結業績予想値と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 75,000	百万円 600	百万円 600	百万円 600	円 銭 83.83
実 繰 値 (B)	76,271	492	1,268	1,287	179.04
増 減 額 (B-A)	1,271	△108	668	687	—
増 減 率 (%)	1.7	△18.0	111.4	114.6	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	70,639	2,247	2,470	95	13.90

2. 差異の理由

売上高については、為替変動の影響及び、自動車機器事業が想定以上に推移したこと、エネルギーソリューション事業で想定より材料を入手できることによる生産計画改善により、業績予想数値を12億71百万円上回りました。

営業利益については、売上高は増加したものの、第3四半期から続く材料高騰、半導体の絶対的な不足、電子部品の供給制約による影響が想定以上に大きく原価を悪化させました。

対策として、経費節減等の諸施策を継続したものの、業績予想数値を1億8百万円下回りました。

経常利益については、為替相場変動による為替差益9億50百万円の営業外収益を計上したことにより、営業利益の減少額を超えて業績予想数値を大きく上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、自動車機器事業での市場回収措置(リコール)に関する製品補償損失引当2億90百万円の特別損失が発生したものの、繰延税金資産計上による法人税等調整額3億8百万円が生じ、業績予想値を6億87百万円上回りました。

以 上